

水痘(みずぼうそう)の注意喚起について

県内で水痘(みずぼうそう)の患者が増加しています。

県が実施している感染症発生動向調査の令和7年第19週及び20週において、仙南・石巻・仙台市保健所管内における1定点医療機関当たりの水痘患者数が令和6年度まで運用していた注意報発表基準(1人)を超えています。

水痘は小児に多く見られる感染症です。感染の予防にはワクチン接種が有効です。また、感染を予防するために家庭では、タオル等の共用を避けるほか、手洗い、咳エチケットなどの徹底をお願いします。

○ 各保健所管内における1定点医療機関当たりの水痘患者報告数(人)

保健所名	仙南	塩釜	大崎	石巻	気仙沼	仙台	宮城県(合計)
19週	1.00	0.20	0	2.33	0	0.27	0.47
20週	1.50	0.20	0.33	1.00	0	1.00	0.77

～水痘(みずぼうそう)とは～

原因:水痘帯状疱疹ウイルスにより感染します。

症状:水疱、発熱(38℃前後)

水疱は直径3～5mm程度の大きさの全身性発疹でかゆみを伴います。数日にわたり、新しい水疱が次々とできるため、丘疹、水疱、痂皮(かさぶた)が混在し、全て痂皮化するまで6日程度かかります。特に、抵抗力の弱い乳児や高齢者、免疫抑制剤を使用している方等が感染した場合は、重症化しやすいので、注意が必要です。

好発年齢:小児に多いです。

潜伏期間:10～21日。

感染経路:空気感染・飛沫感染・・・咳やくしゃみなどによって感染します。

接触感染・・・水疱や粘膜の排出物に接触することによって感染します。

発疹出現の1～2日前から全発疹が痂皮化するまでの間、感染させる力があります。

治療:症状を緩和する対症療法が主に行われ、重症者等には、抗ウイルス薬の投与が行われることがあります。

～水痘(みずぼうそう)の予防～

1 ワクチン接種が有効です。

- ・ 1～3歳の間に2回接種することが推奨されています。(定期接種)
- ・ 未接種者が発症者と接触した場合、72時間以内にワクチンを接種することで、発症を抑える、又は軽症化が期待できるとされています。接種の実施については、かかりつけ医に御相談ください。

2 家族や身近な方が感染した場合は、石けんと流水による十分な手洗いを徹底し、タオルの共用は避けましょう。

3 「咳エチケット」を徹底しましょう。

○ 参考となるホームページ

厚生労働省「水痘ワクチン」

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekkaku-kan-senshou/yobou-sesshu/vaccine/chickenpox/index.html

国立健康危機管理研究機構 感染症情報提供サイト「水痘」

<https://id-info.jihs.go.jp/diseases/sa/varicella/010/varicella-intro.html>